

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
体育	体育	1	A B C D E F 男子	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	宮崎 久、井原 啓太、南部 紳
授業形態	体育実技
教科書	現代高等保健体育改訂版，大修館書店
使用教材等	無し

科目の目標・内容等

学習目標	運動やスポーツを通して心身の発達や体力・技能を高め、生涯スポーツにつなげる。
学習における 留意点	自己の能力において、種目の特性を認識し技術の向上をはかる。健康、安全に留意して、意欲的に取り組む。意欲をもって積極的に実技科目を行う。継続的に行う。
予習・復習	無し
評価方法	実習・発表・平常点(スキルテスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	オリエンテーション 体づくり運動 スポーツテスト 水泳	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力の向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。
2	水泳 球技 持久走	仲間と協力しながら、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力が向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。基礎を身に付けたうえで、仲間と協力しながらゲームを進めていく。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。
3	持久走 球技	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に取り組むとともに、技術の向上を目指して取り組む。 基礎体力の向上を目指し学習する。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

保健体育 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
体育	体育	1	A B C D E F 女子	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	鈴木 誠士、井田 尚乃、蛭間 翔子
授業形態	体育実技
教科書	現代高等保健体育改訂版，大修館書店
使用教材等	無し

科目の目標・内容等

学習目標	運動やスポーツを通して心身の発達や体力・技能を高め、生涯スポーツにつなげる。
学習における 留意点	自己の能力において、種目の特性を認識し技術の向上をはかる。健康、安全に留意して、意欲的に取り組む。意欲をもって積極的に実技科目を行う。継続的に行う。
予習・復習	無し
評価方法	実習・発表・平常点(スキルテスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	オリエンテーション 体づくり運動 スポーツテスト 水泳	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力の向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。
2	水泳 球技 持久走	仲間と協力しながら、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力が向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。基礎を身に付けたうえで、仲間と協力しながらゲームを進めていく。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。
3	持久走 球技	種目の特性を認識し、自己の課題を見付け積極的に取り組むとともに、技術の向上を目指して取り組む。 基礎体力の向上を目指し学習する。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

保健体育 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
体育	体育	2	A B C D E F 男子	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	宮崎 久、井原 啓太、南部 紳
授業形態	体育実技
教科書	現代高等保健体育改訂版 ，大修館書店
使用教材等	無し

科目の目標・内容等

学習目標	運動やスポーツを通して心身の発達や体力・技能を高め、生涯スポーツにつなげる。
学習における 留意点	自己の能力において、種目の特性を認識し技術の向上をはかる。健康、安全に留意して、意欲的に取り組む。意欲をもって積極的に実技科目を行う。継続的に行う。
予習・復習	無し
評価方法	実習・発表・平常点(スキルテスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	オリエンテーション 体づくり 体育祭練習 スポーツテスト 水泳	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力の向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。審判についても対応できるようにする。	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。体育委員を中心に主体的に活動できたか。
2	水泳 球技 持久走	仲間と協力しながら、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力が向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。基礎を身に付けたうえで、仲間と協力しながらゲームを進めていく。審判についても対応できるようにする。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。体育委員を中心に主体的に活動できたか。
3	持久走 球技	種目の特性を認識し、自己の課題を見付け積極的に取り組むとともに、技術の向上を目指して取り組む。 基礎体力の向上、ゲーム中での活用を目指し学習を行う。審判についても対応できるようにする。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。体育委員を中心に主体的に活動できたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

保健体育 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
体育	体育	2	A B C D E F 女子	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	鈴木 誠士、井田 尚乃、蛭間 翔子
授業形態	体育実技
教科書	現代高等保健体育改訂版 , 大修館書店
使用教材等	無し

科目の目標・内容等

学習目標	運動やスポーツを通して心身の発達や体力・技能を高め、生涯スポーツにつなげる。
学習における 留意点	自己の能力において、種目の特性を認識し技術の向上をはかる。健康、安全に留意して、意欲的に取り組む。意欲をもって積極的に実技科目を行う。継続的に行う。
予習・復習	無し
評価方法	実習・発表・平常点(スキルテスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	オリエンテーション 体づくり 体育祭練習 スポーツテスト 水泳	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力の向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心をもち、意欲的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。
2	水泳 球技 持久走	仲間と協力しながら、意欲的に取り組む態度を育むとともに、実技技能や基礎体力が向上を目指して取り組む。 授業の参加状況、健康・安全に留意して行うようにする。基礎を身に付けたうえで、仲間と協力しながらゲームを進めていく。競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。実技技能や基礎体力が向上したか。他者と協力し、主体的に参加することができたか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。体育委員を中心に主体的に活動できたか。
3	持久走 球技	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に取り組むとともに、技術の向上を目指して取り組む。基礎体力の向上、習得した技術をゲームの中で活用することを目指す。審判についても対応できるようにする。	体育に関心をもち、積極的に取り組む態度ができているか。自己の能力を理解し、最大限発揮することができたか。体育委員を中心に主体的に活動できたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
教科名等

保健体育 科

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
体育	体育	3	A B C D E F 男子	3	必履修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	鈴木 誠士、井田 尚乃、宮崎 久、井原 啓太、蛭間 翔子、南部 紳
授業形態	1単位:一斉 2単位:種目選択
教科書	現代高等保健体育改訂版 , 大修館書店
使用教材等	無し

科目の目標・内容等

学習目標	運動やスポーツを通して心身の発達や体力・技能を高め、生涯スポーツにつなげる。
学習における 留意点	自己の能力において、種目の特性を認識し技術の向上をはかる。健康、安全に留意して、意欲的に取り組む。意欲をもって積極的に実技科目を行う。継続的に行う。
予習・復習	無し
評価方法	実習・発表・平常点(スキルテスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	オリエンテーション スポーツテスト (1単位)サッカー (2単位:種目選択) ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④卓球 ※上記4種目から選択 体育祭練習 水泳	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に技術の向上を目指し学習する。 基礎体力を高め、協力してゲームをすすめる。 競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。 実技技能や基礎体力が向上したか。 授業の参加状況、健康・安全に留意できたか。
2	水泳 (1単位)サッカー (2単位:種目選択) ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④卓球 ※上記4種目から選択	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に技術の向上を目指し学習する。 基礎体力を高め、協力してゲームをすすめる。 競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。 実技技能や基礎体力が向上したか。 授業の参加状況、健康・安全に留意できたか。
3	水泳 (1単位)サッカー (2単位:種目選択) ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④卓球 ※上記4種目から選択	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に技術の向上を目指し学習する。 基礎体力を高め、協力してゲームをすすめる。 競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。 実技技能や基礎体力が向上したか。 授業の参加状況、健康・安全に留意できたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
保健体育 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
体育	体育	3	A B C D E F 女子	3	必履修	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	鈴木 誠士、井田 尚乃、宮崎 久、井原 啓太、蛭間 翔子、南部 紳
授業形態	1単位:一斉 2単位:種目選択
教科書	現代高等保健体育改訂版 , 大修館書店
使用教材等	無し

科目の目標・内容等

学習目標	運動やスポーツを通して心身の発達や体力・技能を高め、生涯スポーツにつなげる。
学習における 留意点	自己の能力において、種目の特性を認識し技術の向上をはかる。健康、安全に留意して、意欲的に取り組む。意欲をもって積極的に実技科目を行う。継続的に行う。
予習・復習	無し
評価方法	実習・発表・平常点(スキルテスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	オリエンテーション スポーツテスト (1単位:バドミントン) (2単位:種目選択) ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④卓球 ※上記4種目から選択 体育祭練習 水泳	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に技術の向上を目指し学習する。 基礎体力を高め、協力してゲームをすすめる。 競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。 実技技能や基礎体力が向上したか。 授業の参加状況、健康・安全に留意できたか。
2	水泳 (1単位:バドミントン) (2単位:種目選択) ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④卓球 ※上記4種目から選択	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に技術の向上を目指し学習する。 基礎体力を高め、協力してゲームをすすめる。 競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。 実技技能や基礎体力が向上したか。 授業の参加状況、健康・安全に留意できたか。
3	(1単位:バドミントン) (2単位:種目選択) ①バスケットボール ②バレーボール ③ソフトボール ④卓球 ※上記4種目から選択	種目の特性を認識し、自己の課題を見つけ積極的に技術の向上を目指し学習する。 基礎体力を高め、協力してゲームをすすめる。 競技、審判についても対応できるようにする。	体育に関心を持ち、意欲的に取り組む態度ができているか。 実技技能や基礎体力が向上したか。 授業の参加状況、健康・安全に留意できたか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
保健体育 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
保健	保健	1	A B C D E F	1	必履修	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	井田 尚乃、井原 啓太、南部 紳
授業形態	講義・実習・鑑賞等
教科書	現代高等保健体育改訂版，大修館書店
使用教材等	・ICT(パソコン)パワーポイント ・ワークシート

科目の目標・内容等

学習目標	生涯を通じた健康づくりの基礎を学ぶ。
学習における留意点	個人の努力だけでなく社会の一員として地球規模で健康問題を考える意識が必要である。健康的な生活習慣を身に付け、生活環境を守るための知識と能力を高める意識をもつ。
予習・復習	予め教科書を読んでおく。ワークシート、板書内容を整理する。
評価方法	定期考査・実習・発表・平常点(小テスト・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	1 単元 現代社会と健康 1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方 3 健康と意志決定 ・行動選択 4 健康に関する環境づくり 5 生活習慣病とその予防 6 食事と健康 7 運動と健康 8 休養・睡眠と健康	現代社会の健康水準や健康な心身について。健康と、個人の行動や社会の活動との関わりについて理解する。意志決定や行動の選択、その影響要因等を理解する。自他の生命や身体を守り、不慮の事故や災害に対処できる社会環境を作りの大切さを知る。生活習慣病と基本的な生活習慣との関連を理解する。健康の保持と増進に関連した、食事・運動・休養・睡眠・喫煙・飲酒について理解する。	学んだ知識を実際の生活の中で関連付け、自ら具体的に計画・実行・評価を実践する。自分自身の、健康的な生活習慣を把握する。食事・運動・休養・睡眠など、毎日の生活の中で生活の質を高めることを把握し実践する。喫煙や飲酒が体や心に与える影響への対策の理解を深める。
2	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 現代の感染症 13 感染症の予防 14 感染症 ・エイズとその予防 15 欲求と適応機制 22 応急手当の意義とその基本 23 心肺蘇生法 24 日常的な応急手当	薬物の乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解するとともに薬物乱用の防止と対策を学ぶ。エイズ、結核、腸管出血性大腸菌感染症や薬剤耐性菌問題など、近年、感染症の新たな問題とその予防について、社会的な対策や個人の行動面から理解する。人間の低次から高次に及ぶ欲求が、大脳新皮質の働きによりコントロール可能であることを学ぶ。心身相関のしくみとストレスの関連や、心の健康について理解する。応急手当の方法を身に付ける。また、人工呼吸、心臓マッサージやAEDの実習を行う。	薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解を深めるとともに具体的防止対策について実践できる対応を習得する。エイズ、感染症等のの理解を深め、具体的な予防対策を習得する。心の安定を保つために、適応機制を上手に利用することや、ストレスと上手につきあうために、ストレスの捉え方・気分転換・リラクゼーションのしかたについて理解を深める。人間がセルフコントロールできる手立てを習得する。
3	16 心身の相関とストレス 17 ストレスへの対処 18 心の健康と自己実現 19 交通事故の現状と要因 20 交通社会における運転者の資質と責任 21 安全な交通社会づくり	ストレスへの個人での対処法を知り、信頼できる人や専門家への相談方法を学ぶ。 自己を的確に把握し、自分らしさが形成されていく時に、達成感や充実感を味わうことを学ぶ。 日本の交通事故の現状を知り、事故原因と対策、及び必要とされる資質と責任について学ぶ。	他者への相談による対処法、自分にあつた方法を編み出し、実践することについて理解を深める。ストレスに対する対処方法の理解を深める。自己実現と心の関係、道筋と達成感について理解を深める。国民皆免許時代の自動車や二輪車を運転する立場を理解し、その責任の重さの理解を深める。また生命を尊重する態度を身に付ける。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。

令和3年度
保健体育 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領 の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
保健	保健	2	A B C D E F	1	必履修	35 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	鈴木 誠士・宮崎 久、蛭間 翔子
授業形態	講義・実習・鑑賞 等
教科書	現代高等保健体育改訂版，大修館書店
使用教材等	・ワークシート ・ICT(パソコン)パワーポイント

科目の目標・内容等

学習目標	思春期から中高年期までの健康に関わることがらを学ぶ。
学習における 留意点	健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたなどを個人発表、講義、グループワークなどから学ぶ。
予習・復習	事前に教科書を読んでおく。個人発表の準備をする。ワークシート、板書内容を整理する。
評価方法	定期考査・個人発表・平常点(グループでの発表・レポート等)をもとに総合的に評価する。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	2単元 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶	思春期の特徴について体と心の両面から理解する。 性意識に関する男女の特性を踏まえて異性を尊重する態度が必要であることと、性に対する情報などについて適切に対処し行動する。 健康な結婚生活を送るために、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを理解する。 受精・妊娠・出産の一連の過程を理解する。 家族計画の意義や方法について、理解する。	思春期の特徴について体と心の両面から理解できているか。 性意識に関する男女の特性を踏まえて異性を尊重する態度が必要であることと、性に対する情報などについて適切に対処し行動することができるか。 健康な結婚生活を送るために、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを理解できているか。 受精・妊娠・出産の一連の過程を理解できているか。 家族計画の意義や方法について、理
2	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的 取り組み 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や 対策	加齢にともなう心身の変化を、形態面と機能面から理解する。 高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が種々行われていることを理解する。 保健制度や医療制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすとよいかを学ぶ。 医療品の正しい使い方やさまざまなくみを理解していく必要がある。	加齢にともなう心身の変化を、形態面と機能面から理解できているか。 高齢者の心身の健康を支援するための社会的対策が種々行われていることを理解できているか。 保健制度や医療制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすとよいかを学ぶことができたか。 医療品の正しい使い方やさまざまなくみを理解できているか。
3	3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と 健康 3 健康被害の防止と 環境対策 4 環境衛生活動のしくみと 働き 5 食品衛生活動のしくみと 働き	大気汚染の原因や健康への影響を理解する。大気だけでなく、水や土も生命維持にとって重要であることを理解する。 環境汚染による健康被害を防ぐために社会ではどのような対策がとられているか理解する。 環境衛生活動のしくみや食品衛生活動のしくみを知り、その働きについても理解する。	大気汚染の原因や健康への影響を理解する。大気だけでなく、水や土も生命維持にとって重要であることを理解できているか。 環境汚染による健康被害を防ぐために社会ではどのような対策がとられているか理解できているか。 環境衛生活動のしくみや食品衛生活動のしくみを知り、その働きについても理解できているか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。